

本学TAF2011実行委員会

学内と企業向け発表会を本学で実施

経営学部を中心に、学部を超えて本学の学生たちが実行委員会を組織し、英語と中国語を駆使して大活躍する世界最大級のアニメーション総合イベント「東京国際アニメフェア（TAF）」。今年は、3月11日の東日本大震災の影響で全面中止となりました。

TAFにおける本学の学生たちのプレゼンテーションは毎年大好評を博し、ビジネスデーにはこの業界のビジネスマンがこぞって本学ブースに來場。実行委員会（学生委員長・経営学部2年/日高愛さん）スタッフたちも、この日に向けて準備を進めてきたことから、その代替えとして4月14日、学内と企業向けの発表会を本郷キャンパスで行いました。

仁愛ホールで行われた学内向け発表会では、経営学部1年生や他学部学生、文京学院関係者を前に、DSを利用した受験サポートシステム企画と

セスを説明しました。

企業向け発表会はB'sダイニングに会場を移し、より近い位置でそれぞれの担当スタッフが堂々とプレゼンを実施。プロダクションI・Gの現役脚本家で、本学の教壇に立つ櫻井圭記先生の指導による本学学生の2D・3DCGアニメ作品にも注目が集まりました。島田昌和教授がこれまで兼任されたコンテンツ多言語知財化センター長を引き継いだ本学の喜多見康教授も、企業家を前にさり気なく文京生の高い能力をPRしました。今後学生たちは、さらに高度な技術を体得し、飽くなき探求心を持って個性豊かな原作案を、様々な商品に合わせマーケティングプランとして提案していきます。



企業人の前で過去のTAFについて解説する文京生